

名古屋市立沢上中学校での出前講座実施報告



5月10日、名古屋自然保護官事務所は名古屋市立沢上中学校へ赴き、1年生を対象として出前講座を実施しました。

沢上中学校の1年生は、「自然との共生」を学び、考える授業として、6月に藤前干潟の清掃活動を予定しています。そこで、今回の出前講座では清掃活動にあたって藤前干潟の環境とゴミの現状を知ってもらうために、藤前干潟に生息している生き物と干潟のゴミが環境に与えている影響について中心に説明しました。

説明には主にスライドを用い、藤前干潟を紹介した映像鑑賞や実物（干潟の砂・泥、カニ、貝）の観察も途中に織り交ぜて講座を進めました。

講座の間、生徒の皆さんはメモを取りながら熱心に講座を聴いていました。一方、干潟の砂やカニなどの実物の観察の際には、「干潟の砂は想像していたよりもざらざらして、海と同じにおいがする」、「カニの甲羅は固かった」などの生き生きとした感想が多く聞かれました。また、講座後には、「清掃活動で藤前干潟の生き物のためにゴミを少なくしたい」という意見を聞くことができ、今回の講座で藤前干潟での清掃活動への動機付けをすることができたのではないかと思います。6月の清掃活動時の生徒の皆さんの活躍が楽しみです。



* 出前講座の様子（左）と出張したカニ（右）

◆実施概要◆

実施日：平成24年5月10日（木）10:45～14:05

※1講座（50分）を3回実施

場所：名古屋市立沢上中学校（熱田区）

対象：中学校1年生（3クラス、計107名）

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

◆講座の内容◆

テーマ	自然との共生を考える 名古屋の生き物の宝庫、藤前干潟
	1. 名古屋の生き物がすむ場所の紹介
	2. 藤前干潟を紹介した映像の鑑賞
	3. 藤前干潟はどんな場所？ ※干潟の砂を触る
	4. 藤前干潟に生息する生き物の紹介 ※カニなどの観察
	5. 干潟の役割
	6. 藤前干潟が埋め立てから守られた歴史
	7. 藤前干潟のゴミの問題と影響
	8. 生き物と共生するために私たちができること
	9. 清掃活動の概要と注意点



* ゴミの現状を説明するのに用いたスライド

今後も名古屋自然保護官事務所では、藤前干潟の生き物のおもしろさや、大切さ、環境保全へ興味を抱ききっかけとなるような出前講座を行っていききたいと思います。

興味関心のある方は、名古屋自然保護官事務所（TEL:052-389-2877、MAIL:WB-NAGOYA@env.go.jp）までお気軽にお問い合わせください。



2012年5月14日

名古屋自然保護官事務所 アクティブ・レンジャー 野村